

2012年10月23日

各位

小野薬品工業株式会社

仏ドメイン社とGPCRに関する創薬で提携

小野薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、以下、当社）と Domain Therapeutics 社（フランス ストラスブール市、以下、ドメイン社）は、G タンパク質共役型受容体（以下、GPCR）の制御薬の創製を目指して創薬提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

今回の契約締結により、当社はドメイン社に対して契約締結時に契約一時金を支払うとともに、提携期間中の研究資金、研究開発の進捗に応じたマイルストーンと上市後は売上高に応じたロイヤルティを支払います。

ドメイン社は研究資金の提供を受け、今後、同社独自のスクリーニング技術である DTect-All™ 技術を駆使し、当社が創薬標的として選択した GPCR に対して新薬候補化合物の創製に取り組みます。当社は、今回の提携により創製される化合物を全世界で独占的に開発・販売する権利を有しています。

小野薬品の取締役常務執行役員研究本部長である川瀬和一十は、「当社は、ドメイン社の DTect-All™ 技術を高く評価しています。今回の提携を通じて、未充足医療ニーズを満たす革新的医薬品が創製できることを期待しています。」と述べています。

ドメイン社の最高経営責任者である Pascal Neuville 氏は、「ドメイン社の GPCR 領域における独自技術基盤が評価されたことを非常にうれしく思っています。ドメイン社は、製薬企業との提携を通じて新薬候補化合物を創製する活動を事業のひとつの柱としており、今回、日本の研究開発型製薬企業である小野薬品と創薬提携に至ったことを大変喜んでおります。」と述べています。

<参考>

ドメイン社について

ドメイン社は、フランスのストラスブール市に所在するバイオ製薬企業で、医薬品の標的分子として最も重要な遺伝子群の1つである GPCR を標的とした低分子化合物を革新的な手法を用いて創製し、早期段階まで自社で開発します。同社は、現在中枢疾患および代謝性疾患においてヒット化合物や最適化されたリード化合物を同社のパイプラインに有しています。また同社は製薬企業向けに同社の技術を利用した創薬支援事業も提供しています。

詳細については、<http://www.domaintherapeutics.com> をご覧ください。

GPCR について

ホルモンなどの生理活性物質の多くは細胞表面に発現している受容体に結合することにより、細胞に情報を伝達しています。GPCR とは、G タンパク質と共役して情報伝達する受容体のことです。GPCR は疾患と関連している場合も多いため、現在市販されている医薬品の中で GPCR を標的とする化合物は多く、その対象疾患領域は中枢神経系や代謝、循環器、呼吸器、泌尿器、消化器など多岐にわたっています。

DTect-All™ 技術について

DTect-All™ 技術とは、標的とする GPCR の一部を GFP と呼ばれる蛍光タンパク質に置き換え、更にドメイン社が独自に保有する蛍光化合物ライブラリーを利用することで、蛍光強度の変化を指標に、標的 GPCR に結合する化合物を高感度でスクリーニングできる技術です。本技術を利用することで、通常の方法では低分子制御薬の創製が難しい GPCR に対して、低分子制御薬を創製できるようになることが期待できます。

以 上

<本件に関する問い合わせ先>
小野薬品工業株式会社 広報室
TEL : 06-6263-5670
FAX : 06-6263-2950